

2024年度 エデュリー発達支援本郷三丁目教室 自己評価

事業所名：エデュリー発達支援本郷三丁目教室
 事業種別：児童発達支援
 評価実施日：2024年7月6日

	チェック項目	数値結果 (5段階評価)	取り組み状況
環境 体制整備	利用定員は建物のスペースの関係上適切か	4.75	法令を遵守したスペースを確保しています。
	職員の配置数は適切であるか	4.5	個別対応で体制を保障しています。
	事業所の設備等について、利用する子どもに応じた配慮が適切になされているか	4.5	個々の子どもの興味・関心等に合わせ、環境や玩具を都度設定しています。
	子どもの個々の状況に配慮した環境設定が行われているか	4.75	ペースで区切り子どもたちにとって安心できる環境となるよう心がけております。
	事業所内の安全対策は十分に取られているか	4.5	常に衛生的な環境を保てるように清掃を行っています。また、子どもが触れることで危険が生じる可能性があるものについては、柵に鍵をかける等対応を行っています。
	事業所内は常に衛生的な状態に保たれているか	4.75	
業務改善	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4.75	定期的にミーティングを開催し、職員が主体的に業務改善に向けた課題解決が行えるようにしております。目標と課題を明確にすることで、継続性のある学びを保障しております。
	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げているか	4.25	保護者様向けアンケートを実施し、いただいたご意見を基に業務改善に努めております。
	自己評価の結果を、事業所ホームページ等で公開しているか	公開している	年に一度実施し、当社HPにて公表しております。
	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋げているか	未実施	現在は、利用者・社内の評価のみ行っております。第三者による外部評価については、必要に応じて実施を検討して参ります。
適切な支援の提供	資質向上のための研修に積極的に参加しているか	参加している	名古屋市立大学の専門医の先生方と実際の支援動画を振り返りながらオンラインで定期的にセッションする等、専門性を高められるようにしております。
	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5	
	子どもの状態を把握するため、支援に対しての進捗を把握するために、統一したアセスメントツールを継続的に使用しているか	5	
	子どもに応じたプログラムを立案できるよう、必要に応じてチームもしくは複数名の職員で検討しているか	5	子どもの興味・関心を起点に、個別最適な療育が展開できるようにしています。
	子どもが楽しんでプログラムに取り組みめるよう、子どもの興味・関心を起点に活動を工夫しているか	5	支援計画を基に、お子様の状態に合っているか都度職員間や保護者の方と確認・相談をしながら日々の支援を行っております。
	子どもの生活環境等に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	
	ガイドラインの総則の基本活動（自立支援と日常生活の充実のための活動・創作活動・地域交流の機会の提供・余暇の提供）を複数組み合わせた視点から、計画的に支援を行っているか	4.75	
	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4.75	日々職員間でミーティングを行い、よりよい療育が提供できるように努めております。
関係機関や保護者との連携	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	
	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか	5	毎回記録を取り、振り返りを行うことを通じて、よりよい支援が行えるようにしております。
	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	児童発達管理責任者をはじめ、すべての職員がお子様状態を把握できるようにしております。
	事業所外の専門機関・専門家等と連携し、助言や研修を受けているか	5	名古屋市立大学の専門医と連携し、職員の専門性を高めるように努めております。
	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4.75	必要に応じてお子様が通っている保育所や幼稚園等と連携を取ったり、保育所等訪問をしたりと連携ができるようにしております。
	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4.75	保護者の皆様へ都度お子様の様子を共有し、よりよい支援の提供に努めております。
保護者への説明責任	保護者の子どもへの対応力の向上を図る観点から、家庭での対応方法などについて助言等の支援を行っているか	4.75	毎回のレッスン終了後保護者様と情報の共有を行っております。
	保護者の子どもへの対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援に関して情報提供等を行っているか	4.5	近隣の保育園や幼稚園からも情報を収集し、保護者の方のお悩み解決の一助になるよう努めております。
	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4.75	運営規程、利用者負担については、ご契約時に説明し、内容にご納得いただいた後に契約を交わしております。
	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	4.75	具体的な支援の内容については、保護者の方へご説明するとともに、毎回レッスンの後に保護者の方に共有する時間を設けております。
	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4.5	レッスン終了後の振り返りの中で保護者の方とお話しする時間を設けております。
	保護者からの相談対応の状況に応じて、適切な他機関の紹介や情報提供を行えているか	4.5	近隣の保育園や幼稚園からも情報を収集し、保護者の方のお悩み解決の一助になるよう努めております。
	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4.75	ご意見に対しての受け入れ体制を整えるとともに、ご意見があった際の解決フローを明確に定めております。
	定期的に活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4.75	レッスンの内容については【発達マップ】を活用しながら保護者の皆様と共有しております。また施設のイベントについては施設内に掲示し、お知らせしております。
	個人情報に十分注意しているか	5	個人情報については適切に取り扱いを行うことを徹底しております。
	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	お子様や保護者様の状況に応じて、視覚的ツール等を用いながら意思疎通や情報伝達が行えるようにしております。
非常時等の対応	サービス提供中の子どもの様子を保護者が把握できるように努めているか	5	レッスンを行う部屋にカメラを設置し、リアルタイムで支援の様子をご覧になっていただけるようにしております。
	地域住民、地域の関係機関に協力いただいて事業所の行事を行うなど地域に開かれた事業運営を図っているか	4.5	今後より地域の方にも様子を知っていただける機会を設けていきたいと思っております。
	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	5	マニュアルを策定し、全職員が対応できるようにしております。
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4.75	
	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4.25	避難訓練を行い、非常時に備えております。
非常時等の対応	アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4.75	アレルギーのあるお子様がいらっしゃる場合には、提供する素材に配慮する等、生活管理指導票に基づき対応を行います。
	ヒヤリハット事例について、その改善策を検討し、報告書を事業所内で保管、ヒヤリハット事例の内容について周知共有しているか	5	ヒヤリハットは全職員が見れるようにし、都度話し合いができるようにしております。